

3 エイズ予防事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表3- (1) -ア 講演会・講習会等実施状況

(単位：人)

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数
平成 22 年 6 月 17 日	千葉県立 浦安高校	講 演 会	思春期健康教育 保健師	1 学年 及び教員	200 人
平成 22 年 6 月 30 日	市川市立 大洲中学校	講 演 会	思春期の性とエイズについて 講師 川口助産院 川口真理子	3 学年 及び教師	120 人
平成 22 年 7 月 6 日	市川市立 第五中学校	講 演 会	思春期の性とエイズについて 講師 川口助産院 川口真理子	2・3 学年 及び教師	377 人
平成 22 年 7 月 6 日	千葉県立 市川工業高校	講 演 会	知っておきたい高校生のからだと心 保健師	定時制 1～4 学年及び教師	89 人
平成 22 年 2 月 1 日	東京学館浦安 高校	講 演 会	思春期健康教育健康な高校生活のため に「性感染症を知ろう」 健康福祉部健康づくり支援課ちば推 進室 主幹 柳堀 朗子	1・2 学年 及び教師	1,020 人

イ 街頭キャンペーン等開催状況

表3- (1) -イ 街頭キャンペーン等開催実施状況

年 月 日	主 な 内 容
平成 22 年 6 月 25 日	J R 総武線市川駅前においてエイズ啓発用リーフレットを配布 (1,500 部)
平成 22 年 12 月 1 日	J R 京葉線新浦安駅前においてエイズ啓発用パンフレットを配布 (1,000 部)

(2) エイズ相談受付状況

表3- (2) エイズ相談受付状況

(単位：件)

年度 年齢階級		性別	相談方法	性別		小 計	合 計
				男	女		
平成 20 年度			電話相談	3	9	12	660
			来所相談	375	271	646	
			その他	-	2	2	
平成 21 年度			電話相談	-	1	1	383
			来所相談	215	166	381	
			その他	1	-	1	
平成 22 年度			電話相談	10	5	15	596
			来所相談	363	217	580	
			その他	1	0	1	
年 階 級	～19 歳		電話相談	-	-	-	19
			来所相談	6	13	19	
			その他	-	-	-	
	20 歳～29 歳		電話相談	1	1	2	242
			来所相談	106	133	239	
			その他	1	-	1	
	30 歳～39 歳		電話相談	3	1	4	220
			来所相談	163	53	216	
			その他	-	-	-	
	40 歳～49 歳		電話相談	-	-	-	67
			来所相談	53	14	67	
			その他	-	-	-	
	50 歳～59 歳		電話相談	-	-	-	19
			来所相談	17	2	19	
			その他	-	-	-	
	60 歳～69 歳		電話相談	-	-	-	16
			来所相談	15	1	16	
			その他	-	-	-	
	70 歳～		電話相談	-	-	-	1
			来所相談	1	-	1	
			その他	-	-	-	
	不 明		電話相談	6	3	9	12
			来所相談	2	1	3	
			その他	-	-	-	

(3) HIV抗体検査他性感染症検査

表3- (3) HIV抗体検査他性感染症検査受付状況

(単位：件)

年度	性別	HIV抗体検査			クラミジア抗体検査			梅毒血清検査		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成 20 年度		642	359	283	547	312	235	556	312	244
平成 21 年度		380	215	165	343	192	151	347	192	155
平成 22 年度		575	361	214	543	338	205	551	342	209

(4) エイズ相談内容の状況

表3- (4) エイズ相談内容の状況

(単位：件)

相談者の区分	男性	女性	合計
同性間性行為による感染を心配する者	38	6	44
異性間性行為による感染を心配する者	284	186	470
その他の性行為による感染を心配する者	8	2	10
輸血による感染を心配する者	2	2	4
家族、友人の感染を心配する者	7	2	9
母子感染を心配する者	1	5	6
医療機関内感染を心配する者	4	7	11
日常生活での感染を心配する者	5	8	13
一般的なエイズに関する知識、情報を求める者	9	2	11
その他	16	2	18
合計	374	222	596

相談者の区分	男性	女性	合計
エイズウイルス・疫学に関すること	55	44	99
患者・感染者の発生状況に関すること	59	41	100
症状・発生機序に関すること	100	64	164
検査に関すること	197	118	315
診断（方法）・治療に関すること	92	75	167
感染経路に関すること	59	49	108
社会の差別や偏見に関すること	13	14	27
行政のエイズ対策に関すること	21	15	36
エイズ予防法に関すること	10	7	17
その他	14	4	18
合計	620	431	1051

相談者のうち外国人の人数	男性 5	女性 3	合計 8
--------------	------	------	------

(5) 肝炎ウイルス検査

表3- (5) 肝炎ウイルス検査受付状況

(単位：件)

年度	性別	C型肝炎抗体検査			B型肝炎抗原検査		
		計	男	女	計	男	女
平成20年度		563	304	259	558	302	256
平成21年度		355	198	157	353	197	156
平成22年度		566	354	212	569	354	215

肝炎対策事業として早期発見を目的に、平成18年11月から肝炎検査を実施している。

(6) 肝炎治療特別促進事業

平成20年4月1日から、「千葉県肝炎治療特別促進事業」として、C型肝炎に対するインターフェロン治療への公費による助成制度が開始。平成22年4月1日からは、B型肝炎に対する核酸アナログ製剤治療が公費による助成対象として追加された。

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として行う核酸アナログ製剤治療及びインターフェロン治療に関する申請書の受理及び医療費の一部について償還払いを行った。

表3- (6) B型肝炎に対する核酸アナログ製剤及びC型肝炎に対するインターフェロン治療公費負担に係る申請状況

	申請者(人)		療養費申請者(人)	
	インターフェロン	アナログ	インターフェロン	アナログ
平成20年度	130	—	85	—
平成21年度	84	—	76	—
平成22年度	108	130	64	107

22年4月1日 運用変更

- 1 自己負担限度額の引き下げ
 - ・ 原則1万円（市町村民全課税年額が23万5千円以上の世帯は2万円）
- 2 助成対象の拡大
 - ・ B型肝炎に対する核酸アナログ製剤治療を助成対象として追加
- 3 制度利用回数の規制緩和
 - ・ 一定条件を満たす者について2回目の利用を認める